

子どもたちからの「えっ!」大人の「おお!」

2024.12

dがある!?

いろいろな色の形を使って作ったクリスマスカードに、1年生と4年生がメッセージも書きました。



Dear Grandpa and Grandma と見ながら書いていたはずなのに、Dear Granpa and Granma となっていました。

どちらも音にしまえば、同じ発音です。

「なんで d が必要なんだろう?」というつぶやきが聞こえてきました。

子どもは宝さがしが大好き

勉強に疲れたころ、*The Box of Treasure* の本を読み、簡単な Treasure map を渡すと、真剣に読み取ろうとし、あちらこちら探し始めます。あちらを探して地図を見直し、こちらを探して地図を見直し、大体の場所がわかると、「どこ?教えて!」と言ってきます。“Go straight 5 steps from there. Turn left.” と伝え、道案内の学習はしていない1年生が、ちゃんとそのように動いていました。それでも宝は見つからず、また、「どこ?ヒント、please!」とやってきます。“Look under your coat.”と言うと、「どこ?どこ?あった!」と見つけてきました。見つけたという気持ちが強いと、自分が知っている語彙(5 steps, 身振りを添えた turn left, coat など)を手掛かりに見つける姿に、「おお!」です。



Yes, there is. 主語は?

中学生が、ワークブックで Yes/No questions の学習確認をしていました。Yes, I/you do. No, he/she doesn't. Yes, No の後は、主格の代名詞+do/does, don't/doesn't と上手く解答していたところ、Is/Are there ...?のところで答えられなくなりました。「Yes, there is/are. No, there isn't/aren't. の there は主語?」という疑問が頭に浮かんだようでした。